

カンボジア最高サンガ評議会

サムデク・プリー・アッガマハサンガラジャディパティ・テップ・ヴォン聖下
カンボジア王国法王

2013年4月27日、プノンペン

祝辞



2013年5月21日、22日にタイ国バンコクで開催される、第10回を迎える国連ウェーサクの日式典に祝辞をお送りできることは非常に名誉なことです。私は、また、この式典の最初からこれまでの9回の式典のすべてに参加する機会をいただいて参りましたことを誇りに思っております。

最高サンガ評議会とタイ王国政府は、国連ウェーサクの日の式典を第1回から今回の第10回式典まで主催されておられます。その卓越したリーダーシップと寛大な支援、そして払われてきた大きな努力に対して私達は祝福の言葉をお贈りしなくてはなりません。

今年のテーマ：「教育と国際社会の一員であること：仏教的展望」は、不当な扱いや差別が、そして、一つの国の中での争いが、また、国と国の間での民族的な争いが衰えることなくいまだに続いている現在の世界において、十分な認識の上につつ非常に時宜を得たものです。このような状況の中で、非暴力と普遍的な価値に基づいて、個人の欲と憎しみと妄念の根絶を目指す仏教の教えは、疑いなく、万人の慈悲心と国際社会の一員としての意識を高めるために適切であり、その助けとなるものです。

第10回国連ウェーサクの日は、すべての生きとし生けるものの利益と繁栄と幸福のために大きな成功を収めますことを心からお祈り致します。

サムデク・テップ・ヴォン聖下

カンボジア王国法王

中国佛教協會

シュエ・チェン最高尊師からの
祝辞

国際仏教大学連盟、副会長
国連ウェーサクの日国際評議会、副会長
中国佛教協會、業務執行担当副会長

2004年5月に、国連ウェーサクの日を祝う初めての国際仏教徒会議がタイ国のバンコクで開催されました。それ以来、国連ウェーサクの日祝賀式典という舞台で、近年全世界が直面している危機を解決し、世界平和を守り、持続可能な開発を推進し、平等で民主的で文明化した社会を建設する決意を求め、世界中の仏教徒と世界中の様々な国の人々が一緒に集まって幾つもの大きな問題を討議してまいりました。国連ウェーサクの日が世界に対して果たす役割はますます重要なものとなっております。

マハチュラロンコーンビジャウィタヤライ大学学長様が、国連ウェーサクの日祝賀式典に対してこれまでなされてきた素晴らしい貢献を賞賛されて、タイ国王陛下より仏暦2555年（2012年）9月5日に、プラ・ブラマプンティット(Phra Brahmapundit Sitthiworadhamprayut Visutthisilajarnnivith Paisanwitessassanakijdilok Treepidoklpundit Nahakanisson Bowornsangharam Kamawase)の称号を賜られ、最高尊師プラ・ブラマプンティット教授博士となられたことに心からのお慶びを申し上げます。

最後に、タイ国のバンコクで2013年5月21日、22日の両日に開催される国連ウェーサクの日祝賀式典、並びに、タイ国大僧正陛下の100歳の誕生日記念式典の成功をお祈り致します。

最高尊師

シュエ・チェン

中国佛教協會、業務執行担当副会長
国連ウェーサクの日国際評議会、副会長
国際仏教大学協会、副会長

浄心最高尊師からの
祝賀メッセージ
浄覚僧伽大学学長
世界仏教華僧会会長
台湾

ブッダ・ゴータマの誕生と悟りと入滅を記念して祝う三重に神聖なウーサクの日は、世界中の仏教徒にとってもっとも重要な行事です。タイ国大僧正、ソムデット・プラ・ニャナサンバラ聖下の 100 歳の誕生日を祝う式典と 2556 年／2013 年の国連ウーサクの日式典が「教育と国際社会の一員であること：仏教的展望」というテーマの下にタイ国で開催されることを私は本当に嬉しく思っております。

菩提樹の木の下で悟りを達成された後、シャカムニ・ブッダは、世界に対するその慈悲の心と人類の幸福への思いから、涅槃に入られる最後の瞬間まで、真理を広く知らせてすべての生き物を苦しみから解放することに全人生を捧げられました。今年は仏暦で 2556 年です。私達は情報技術が急速に進歩しつつある、いわゆる IT 時代に生きております。すべての仏教徒は、こうした時代のニーズに合わせてながら、ブッダの慈悲心を高く掲げてダルマを広く知らしめ、全人類の幸福のために共に働かねばなりません。

私は、第 10 回国連ウーサクの日祝賀式典を開催して下さるタイ国政府とマハチュラロンコーンビジャウィタヤライ大学学長の最高尊師プラ・ブラマブンティット教授博士を心から賞賛致します。「教育と国際社会の一員であること：仏教的展望」という今回の式典のテーマは非常に重要なものです。参加者の皆様が実りある議論を尽くされ、有益な方針と解決策を生み出されると信じております。最後に、式典が大きな成功を収められますことをお祈り致します。

ダシチョイリン僧院

Ch.ダムバジャブ・カムパ・ラマ猊下からのメッセージ

私は、2013年の第10回国連ウェーサクの日祝賀式典並びにタイ国大僧正、ソムデット・プラ・ニャナサンバラ猊下の100歳の誕生日記念式典にこの祝賀のメッセージをお送りできることを嬉しく思います。

モンゴルの仏教徒を代表して、この意義深い行事のためにここにお集まりのすべての仏教徒の皆様にご感謝申し上げます。この式典は、仏教についての見識を持つ人々と仏教を専門とする人々が世界各国から集まって意見を交換する良い機会であり、仏教の教育と普及にとって有益な機会です。

さらに、様々な部派の仏教徒が、お互いの仏教実践のやり方を知りそれを理解することによって、全人類に対する善行を行うために、そして、仏教の存在と世界中の平和を守るために協力し合うようになることでしょう。モンゴルの国民はすべての人間が調和と平和のうちに共存するという理想を心から信じております。

この国際的な仏教の催しの成功を心よりお祈り致します。

三宝の祝福が皆様方にありますように！

Ch.ダムバジャブ・カムパ・ラマ猊下

ダシチョイリン僧院大僧院長

第10回国連ウーサクの日祝賀式典とタイ国大僧正尊師の誕生日記念式典への
スリランカ、マルワッタ僧院、最高尊師チッボツワエ・スリ・シッダールタ
・スマンガラビダナ・マナーナーヤカ・テロの
メッセージ

聖なるゴータマ・ブッダの誕生と悟りと逝去の日に行われる国連ウーサクの日第10回祝賀式典とタイ国大僧正尊師の誕生日記念式典にお祝いのメッセージをお送りできることは大きな喜びです。

ブッダの入滅から236年後、デワナムピヤティッサ王の御代にマヒンダ師がスリランカに來訪されて以来、ウーサクの日はスリランカの仏教徒によって盛大に祝われております。1999年にスリランカが国際連合機構に提出した動議によりウーサクの日は国際デーとして宣言されたことを、スリランカの仏教徒は非常に光栄なことであり最高の業績であると考えております。この国際的によく知られているウーサクの日の第10回という記念すべき回に再び堂々たる祝賀式典が開催されることは、非常に高く評価されるべきことです。

タイ国大僧正尊師の100回目の誕生日記念式典が国際ウーサクの日に行われることは、また大きな喜びです。1913年10月3日にカンチャナブリーで誕生されたソムテト・プラ・ニャナサンバラ師は、1989年にタイ国国王ご夫妻により『サンガラジャ（法王）』という名誉ある位を授けられました。

大僧正尊師は、仏教の教えに従い初めは世間から離れた僧院におられました。仏教僧としての位を一步一步上られ、教育の向上や病院の建設などの社会的活動に力を尽くされました。大僧正尊師はまた、仏教と瞑想に関する数多くの説教を行われ、タイ国内のみならず海外の人々にも仏教の学習を奨励されました。大僧正尊師が書かれた数々の本は英語に翻訳されており、また、大僧正尊師は上座部仏教サンガ社会の存続のためにできうる限りのことをされてきました。大僧正尊師が三宝の助けと恵みにより幸福な人生を長くお続けになられますようお祈り致します。

スリランカ、キャンディ、マルワッタ僧院

Mahaviharavansika Syamopali Maha Nikaya

マハビハラバンシカ シャモパリ マハ ニカヤ

最高尊師チッボツワエ・スリ・シッダールタ・スマンガラビダナ・マナーナーヤカ・テロ

2013年4月24日

祝辞

第10回国連ウェーサクの日の祝賀式典が2013年5月21日と22日の二日間にわたり、タイ国のバンコクで最高サンガ評議会とタイ王国政府の恩恵を受けて開催されることを知って、私は喜んでおります。この式典のテーマ「教育と国際社会の一員であること：仏教的展望」は今日の世界の状況において非常に適切なものでありましょう。

バン格拉デシュの仏教徒とバン格拉デシュ・マハーニカイ派最高サンガを代表して、皆様に心よりの祝福の言葉を申し上げ、生きとし生けるものが苦しみから開放され幸福に平和に生きることを祈ります。ブツダの誕生と悟りと入滅という三重に神聖な日であるウェーサクの日は、人間が涅槃という究極の至福を達成するために必要な慈愛の心と慈悲心そして共感の喜びと平静な心など、すべての徳性を持たれて全人類を教え導かれた慈悲深いブツダの人生における歴史的な出来事です。

人類の安寧と幸福を求める国連ウェーサクの日の大いなるビジョンを、様々な問題に焦点を当てて、とりわけ、教育や環境といった世界的な問題に焦点を当てて会議やセミナーやシンポジウムという形で取り上げ具体化して下さる主催者の皆様の真摯なたゆまぬ努力に対して、私は心より御礼を申し上げます。扱われる問題はいずれも、今日の世界の状況の中でブツダの教えが大いに役立つものばかりです。私は、今日の混乱した世界の中で、ブツダの教えがさらに広く伝えられ実践されることによって、世界のより多くの人々がブツダの教えの恩恵を受け、また、世界の平和が回復されますことを願っております。

祝賀式典が大きな成功を収められますことをお祈り致します。

生きとし生けるものが幸福でありますように。

バン格拉デシュ・ブツダ・クリスティ・プラチャール・サンガ
会長

(サンガナヤカ・スツダーナンダ・マハテロ)

世界リンソン仏教会
リンソン学院

2013年5月2日、ヴィトリー・シュル・セーヌ

世界リンソン仏教会
国連ウェーサクの日祝賀式典への
メッセージ

バンコク、2013年5月21日、22日

最高サンガ評議会とタイ王国政府、並びに、国連ウェーサクの日国際評議会の祝福の下にタイ王国で開催される2013年の第10回国連ウェーサクの日国際祝賀式典に、フランスの仏教徒を代表して、また、私個人として、心よりのお祝いの気持ちをお伝えしたいと思います。マハチュラロンコーンビジャウィタヤライ大学学長の最高尊師ブラ・ブラマプンティット教授博士と彼の下にある精力的なチームの皆様には、タイ王国において再びこの催しが大きな成功を収めるよう一生懸命働いて下さっておられることに特に感謝を申し上げます。

今年の国連ウェーサクの日祝賀式典は、シャカムニ・ゴータマ・ブッダの誕生と悟りと入滅を記念する祝いとタイ王国大僧正のソムデット・プラ・ニャナサンバラ聖下の100歳の誕生日記念の祝いが重なり、これまでも増して重要な行事となることでしょう。

ブッダは45年間にわたってその教えをお説きになり、解脱の道を示されました。ブッダは、万人に教育の扉を開くという革命的なその説教活動によって、人々と神々の師として広く一般に知られていました。それゆえ、私は、世界中からタイに集まる仏教指導者の皆様がこの催しを連帯して祝われ、全ての人間が平和と安全と社会的経済的進歩を享受しつつも生物の多様性を保護する社会を確立することを目指して、人間の社会をより良いものにすることを目指して「**教育と国際社会の一員であること：仏教的展望**」というテーマを探求されることと確信しております。

タイ国バンコクでの祝賀式典の大きな成功をお祈りします。

テムパラウェラ・ダマラタナ尊師（ソルボンヌ哲学博士）
リンソン仏教学院リーダーシップアカデミー、事務局長
フランス仏教協会、名誉会長

インド マハボーディ協会

2013年4月12日

メッセージ

アンガリカ・ダーマパラによって1891年に設立されたインドマハボーディ協会は、2013年(仏暦2556年)5月21日と22日の両日タイ国のバンコクで開催される第10回国連ウェーサクの日にこのメッセージをお送り致します。

私はこのメッセージをブッダとダルマの誕生の地からお送り致しております。

私はインドで仏教僧として40年を過ごして参りました。仏教はインドでいまではささやかに生きておりますが、タイ国は黄色い僧衣の国として知られております。タイ国の人々は仏教と仏教文化をいまでも守っておられます。

ですから、国連はこの式典の責任をタイ国のサンガ評議会とタイ王国政府に与えられました。

この祝賀式典を通して平和のメッセージが世界中に広まる。これが私達の祈願です。

昨年私は、マハチュラロンコーンビジャウィタヤライ大学学長の最高尊師プラ・ブラマプンティット教授博士が、このめでたい行事をダルマの友人達と共に非常に上手に組織され指揮される様子を拝見しました。

仏暦2556年5月21日と22日に開催される2013年ウェーサク祝賀式典の成功を三宝にお祈り致します。

Bhavatu Sabba Mangalam,
バーヴァツ・サッバ・マンガラム

ダルマの下に

D. レワター・テロ博士
インド マハボーディ協会事務局長
インド筆頭サンガナーヤカ
携帯電話：0993640800

STIAB スマラトゥンガ仏教大学

仏暦 2556 年／2013 年国連ウェーサクの日への スマラトゥンガ仏教大学学長のメッセージ

神聖なるブッダに私は帰依します
祝福されしもの、高められしもの、完全なる悟りを得たものに称えあれ
完全に悟りを得たもの、偉大なるものに称えあれ

「ブッダは世界を教え導くために来られる」

ウェーサクの日は、偉大な人物、『シッダールタ・ゴータマ』の誕生と苦闘、そして、ゴータマが人生の苦難を乗り越えることに成功されたことを思い起こし、その教えと向かい合うために毎年お祝いされます。宗教生活には儀式がつきものですが、そこに人間的な側面があることが東洋の文化の特徴です。ブッダの中道の教えと調和しながら、一人ひとりが、社会に対する義務を怠ることなく、最終的な目標の達成に向かって行かなければなりません。

インドネシア、ボヨラリのスマラトゥンガ仏教大学を代表して皆様にご挨拶を申し上げ、仏暦 2556 年／2013 年のウェーサクの日を皆様が楽しく過ごされますようお願い致します。三重に神聖なウェーサクの日のダルマが私達みなを導いてくれますように。

Sabbe Satta Bhavantu Sukhitatta

すべての生き物が幸福でありますように

敬具

スマラトゥンガ仏教大学学長

スティキャント・ササナ・ボーディ尊師、S.Ag、文学修士

シンガポール仏教総会

2013年4月11日

シンガポールからの祝辞

タイ国大僧正、ソムデット・プラ・ニャナサンバラ聖下に 100 歳の誕生日のお祝いを申し上げます。三宝の祝福がいつも聖下と共にありますように。そして、聖下ができる限り長生きをされてダルマという贈り物について聖下がお持ちの叡智を世界と分かち合うことができますように。ダルマが、聖下の賢明な助言と導きによって世界の隅々にまで届き、どの国においてもその国民のより多くの人々の耳に達することを祈ります。

この催しを企画し、世界中の仏教徒の代表者達がダルマの釈義におけるそれぞれの経験を分かち合い討議する機会を生み出して下さった主催者のタイ王国政府と、中心的なまとめ役を務められているマハチュラロンコーンビジャウィタヤライ大学の皆様、皆様の献身的な一致団結した大きな努力とエネルギーがなければ、この催しを開催することは不可能でしょう。皆様に、**Sadhu! Sadhu! Sadhu!** (サドゥー！サドゥー！サドゥー！) [訳者注：ヒンズーの苦行者や聖者の意味でよく使われるが、この場合は「素晴らしい」という感嘆語として使っているのであろう。3回繰り返すのが普通]

セック・クワン・ピン 尊師

シンガポール仏教総会

事務局長

ウガンダ仏教センター

2013年4月19日

2013年第10回国連ウエーサクの日祝賀式典への祝辞

アフリカ、ウガンダの仏教徒を代表して、100歳の誕生日を迎えられるタイ国大僧正ソムデット・プラ・ニャナサンバラ猊下、最高尊師プラ・ブラマプンティット教授博士、タイ王国政府、最高サンガ評議会、そして、マハチュラロンコーンビジャウィタヤライ大学にこうしてお祝いのメッセージを書くことは非常に光栄なことだと感じております。皆様が、「教育と国際社会の一員であること：仏教的展望」というテーマの下に第10回国連ウエーサクの日祝賀式典を開催して下さることに深く感謝致します。

私は、このめでたい集まりに世界各国の仏教徒が集まってウエーサクの日と猊下の誕生日を祝うだけではなく、「21世紀における教育と国際社会の一員であること」というテーマの下で、人の蒙を啓く仏教が21世紀の教育とどのように関わりうるかについて話し合うことを本当にうれしく思います。ダルマについてこのような話し合いをすることにより、私達皆が、ブッダの^{いにしえ}古の智慧を高く掲げることにも貢献しながら、現代の社会で私達が直面している様々な難題にその教えを用いる新しい方法を開発することができます。

加えまして、私はこの堂々たる集まりの一員として参加するように、とウガンダの代表団と共にご招待いただいたことに非常に感謝致しております。私達の参加によって、ウガンダとアフリカにおいて仏教の理解がさらに進んでいくことを切に願っています。

国連ウエーサクの日式典とソムデット・プラ・ニャナサンバラ猊下の100歳の誕生日記念式典が大きな成功を収めますようお祈り致します。

ダルマの下に

ビク・ブッダラキータ尊師

ウガンダ仏教センター僧院長兼会長

2013年4月24日、水曜日

ウェーサクの日国際評議会(ICDV)

相乗作用を与えエネルギーを与えてくれるもの

数多くの国際的な仏教団体がありますが、古い歴史を持つ神聖なウェーサクの日を巡って設立されたウェーサクの日国際評議会 (ICDV) はその中でもひととき優れた団体の一つです。ウェーサクの日国際評議会が、北から南からあるいは東から西から、様々な国の仏教界をバンコクに呼び集めてからもう10年が経ちました。大乘仏教、上座部仏教、そして密教が世界の隅々から集まり毎年ここで顔を合わせます。その中にはアフリカ、中央アメリカ、そして、ラテンアメリカの仏教徒もいます。

この年1回の集まりの成果の一つは、2007年に生まれた国際仏教大学連盟 (IABU) の設立です。その時から、国際仏教大学連盟はウェーサクの日国際評議会の最も重要ないくつかのプロジェクトに責任を負ってきました。そのようなプロジェクトの一つが、すべての仏教部派の経典を反映させた共通仏教経典 (CBT) の編纂です。その目的は、21世紀の仏教信者のために、現代に合った仏教経典を作り出すことです。このプロジェクトは、各仏教部派の豊かで多様な伝統を称える一方で、“世界の覚醒に向けての旅”を各仏教部派が共有していることを強調するものです。2010年からこのプロジェクトに取り組んでいる各仏教部派の学者達からなる共通仏教経典編集委員会は、皆様のご意見やご承認をいただくために、ウェーサクの日国際評議会の今回の第10回会議に草案を提出いたします。今年は、ウェーサクの日国際評議会の会議としては、メインテーマに関する全体討論セッションの他に、この共通仏教経典についての公開討論会だけがおこなわれます。そこで世界各国の仏教界の指導者と学者の方々からいただくご意見やご提案をその内容の中に組み込んだ後に、共通仏教経典は出版されて世界中で無料で配布される予定です。

もう一つ、国際仏教大学連盟が取り組んできた重要な国際的プロジェクトには、電子的な仏教経典総合カタログ (UCBT) があります。これは、シナジー (相乗効果) を狙って、すべての仏教経典をCD Romに収める、すなわち、一つにまとめた仏教経典情報源を作るというものです。このプロジェクトは現在、これまでより一層専門的かつ複雑な高度な段階にあり、管理面、財政面、学術面、そして専門技術面においてすべての関係者のさらなる専心と協働を必要としています。

過去9年間にわたってこの集まりに参加して参りましたことは、私個人にとって大きな荣誉でした。私は、私達が毎年発表するバンコク宣言をしばしば読んで、私達が討議した種々の問題、交換した様々な意見、そして到達した幾つもの合意を思い返します。これまでのほとんどの年で、バンコク宣言の草稿作成チームの長を務めてまいりましたことは本当に名誉なことでした。私達にはまだ改善すべき

ことがまだまだたくさんありますが、バンコク宣言そのものは、平和でより良い世界を求める私達の理想と夢を表しています。そして、バンコク宣言は、地域レベルで多くの人々を鼓舞し積極的なアイデアを結集させました。毎年のウェーサクの日国際評議会の集まりは、確かに仏教界にシナジー（相乗効果）とエネルギーを与えてきたのです。

尊師カンマイ・ダンマサミ博士（オックスフォード哲学博士）

国際仏教大学連盟（IABU）事務局長

共通仏教経典（CBT）編集委員会委員長

仏教経典総合カタログ（UCBT）共同議長

英国、オックスフォード大学、オックスフォード仏教研究&仏教教誨師センター特別会員兼理事

ロサンゼルス仏教連合会

2013年4月29日

タイ国バンコクでの第10回国連ウェーサクの日への祝辞

尊敬すべき優れた皆様、

ロサンゼルス仏教連合会を代表して、私はこのご挨拶を皆様にお送りし、今年の国連ウェーサクの日式典の間に皆様が払われる努力に感謝申し上げます。国連ウェーサクの日式典はすべての仏教部派を一つにまとめるという歴史を作りました。

すべての仏教徒が様々な難題に日々直面している今日、全世界のすべての仏教団体が国連ウェーサクの日式典の活動から団結の重要性を学ぶことを私は願っております。これらの活動に成功することによって、私達は、仏教徒の間の友情を、そして、仏教徒と仏教以外の宗教を奉じる人々との友情をより良いものとし、世界の問題に取り組み続けていくことができるでしょう。

ブッダの祝福が皆様方すべてにありますように。

ゴダカラナ・グナラタナ

バンテ・チャオ・チュウ

ロサンゼルス仏教連合会、会長

教育と国際社会の一員であること：仏教的展望

ドイツでしばしば出会う一つの質問は、仏教をどのように分類するのかという問題です。それは宗教なのか、それとも哲学なのか、あるいは、もしかしたら生きる方法なのか。これらのいずれの正しいでしょうか、最も正確な答は、それは教育システムである、というものかもしれません。私達はその誕生と出発、覚醒、そして入滅をウェーサクの日に祝っているゴータマ・ブッダの教えは、物事の本質の普遍的真理—ダルマ—を仏教を学ぶ人にとって利用しうるものにすることに重点を置いています。教育が、誰であれ、教育を受ける人のためになることを目指すのと全く同じように、仏教の教えは、存在の本質的な条件についての実際的な理解を増しながら、物理的、肉体的、精神的法則に関する理解を得ることに関心を持つこの地球上のすべての人を待っています。教育者達が抱く揺らぐことなき楽観主義はいかなる形態の教育にとっても必要な条件ですが、それは、人間は正しい手段と方法を選ぶことによって抱える問題を解決することができる、という確信にあります。仏教も、同様に、人間の進歩と改革の可能性を信じています。この確信は、仏教においては、人間だけではなくさらにこの惑星上のすべての感覚ある生き物を含む範囲にまで広げられ、その個々の違いを問うことはなく、また、いかなる形の非論理的な差別もありません。同時に、その焦点は、私達の活動すべての中核にある精神的、知的側面に合わせられます。

ブッダが発見された真理によると、すべての生物は等しく無常、苦しみ、無我というダルマに支配されています。ですから、すべての生き物はみな、存在の原理を完全に理解することによって圧迫を与えるあらゆる状況から解放される道をたどろうとする世界共同体の一員なのです。生き物は因果によって相互に関係しており、この信じられないほど密に編まれた因果の網を通して、どのようなものも、地球に住むものの一員というアイデンティティ（認識）を持つことになります。もしそのようなアイデンティティを持っていないとしたら、それは、世界が実際はどのようなものであるかを正しく理解するために必要な情報をこれまで得ることができなかったからでありましょう。学問的教育であれ、精神的教育であれ、教育を教育たらしめている共通の根本原理は、無知を退け光をもたらす、ということです。それゆえにこそ、教育は地球上の全ての社会において大事にされているのです。

さて、教育と社会の一員という身分は、様々な特権を与えるだけではなく、当然ながら、様々な義務も求めます。それゆえ、この目出度い機会に、私は、伝統的に仏教を奉じている諸国が、ブッダの教えをもっと分かち合うこと、進んで訓練を受けたいと望む人々を教育すること、そして、ダルマの実

践において、世界の他の国々の模範となるという意識をもっと意欲的に高めていくことが必要である、ということを目指したいと思います。仏教教育を受ける機会が今なおほとんどなく、僧院生活や社会的活動のための基本的な施設さえ十分に確立されていない国の代表者として、私は、仏教の本拠地からお出での尊敬すべきダルマの兄弟姉妹の皆様に、仏教組織の構築を支援することの重要性をいっそう重視すること、そして、ダマドゥータ（真理を伝えるもの）としての努力を世界中で行っていくことを要望したいのです。アヌカンパン・ウパダーヤ（Anukampam upadaya!、哀れを理解せよ）!

尊敬すべきサンガの皆様の努力、王室からの祝福、正しき政府による保護、そして、仏教を遵法される皆様の祈りに深く感謝して、私は、国連ウェーサクの日祝賀式典にドイツ代表として参加するという名誉と機会を私どもに与えて下さった皆様に御礼を申し上げます。

合掌

ティタダッモ・ビク
精神指導者

イルクピティエ・パンニャセーカラ・テロ尊師 文学修士
(アフリカ大陸の長老)

2013年5月4日

"Dhamma chari sukhan seti asmin loke paran hicha"
三宝の祝福が皆様の上にありますように！

親愛なるダルマの友人の皆様、

私は、タイ王国のバンコクで5月21日と22日に開催される、ブッダの誕生と悟りと入滅を記念する国連ウェーサクの日祝賀式典に私の祝辞をお送りできて幸せです。私は、2004年以来、毎年この行事をすべての人にとって価値あるものにして下さっている組織委員会の皆様に心から感謝申し上げます。これは世界中の様々な仏教部派の間の結束を保つ非常に素晴らしい機会です。

この国連ウェーサクの日祝賀式典が、あらゆる生き物の善のために、あらゆる生き物の利益と幸福のために、すべての仏教徒の強い連帯と同胞愛を築きあげることに大きな成功をもたらすことを心から願っております。

最後に、ブッダの四つの願いである長寿と健康、幸福と力がすべての皆様に与えられることをお祈り致します。

生きとし生けるものが苦しみから解放され、安らかでありますように！

イルクピティエ・パンニャセーカラ・ナヤカテロ師

アフリカ大陸の長老

後援者－仏教協会、タンザニア

副会長－ダンマドゥータ・コミティ 世界仏教徒連盟 (WFB)－タイ

会長、後援者－カインド・ハート・アフリカ 孤児プロジェクト (KHA)、タンザニア

理事－アフリカの平和のための異宗教間活動 (IFAPA)

役員－平和のための異宗教間評議会 (IRCPT)、タンザニア

平和大使－世界平和のための異宗教間異教徒間連盟 (IIFWP)

会長、後援者－国際仏教徒救援団体 (IBRO)、タンザニア

仏法講師－アフリカ仏教セミナー (ABS)、南アフリカ

名誉会員－スペインダルエスサラーム協会

ルーマニア浄土真宗協会

2013年4月11日

親愛なる仏法の兄弟姉妹へ

梵網經の中に次のように書かれています：

「ブツダの弟子は、慈悲の心を持ち、自らを磨いて生きとし生けるものを解放する実践を行わなければならない。であるから、弟子は次のように考えねばならない：永劫の時を通して、すべての雄の生き物は私の父であり、すべての雌の生き物は私の母であった。私は彼らから生まれた。」

また、私が属する浄土真宗の宗祖、親鸞上人はこう言われました：

「すべての生き物は、例外なく、生存の多くの段階において、無数の生を生きる過程の中で、私達の両親であり兄弟であり姉妹であった。」

感覚を持つすべての生き物に対する孝という考えは、仏教の相互依存（縁起）という教義と強いつながりを持っており、それによると、宇宙のすべての生き物、もの事は互いに密接に関係しており、互いに影響を与え合っているのです。一人で生きている人は誰もおらず、私達は皆お互いに依存しています。

偉大な神インドラ（帝釈天）が住む天空には、あらゆる方向に無限に張り巡らされた素晴らしい網がかけられている、と言われます。その網の目の一つ一つに輝く宝石があり、網が無限にのびているのですから、その宝石の数も無限であるということになります。もし私達が、その宝石の一つを無作為に選び近くからよく見ると、その磨かれた表面に、網に付いている他の無数の宝石がすべて映っているのが見えるのです。それだけではなく、この一つの宝石に映っている宝石の一つ一つが残りすべての宝石を映しており、その結果無数の反映の過程がそこに起こっているのです。

このインドラの、宝石の付いた網のイメージは、仏教において、この宇宙にあるすべてのものが相互に無限に関係していることを説明する例としてよく使われます。今年のウェーサクの集まりを祝う際に、このことを熟考しようではありませんか。

南無阿弥陀仏

ジョーショー・アドリアン・クイルレア師
ルーマニア浄土真宗協会住職兼代表

ジュリア・ギラード首相からのメッセージ
2013年 国連ウェーサクの日

国連ウェーサクの日をお祝いされている皆様に私の心よりのご挨拶をお送りできますことは大きな喜びです。

ウェーサクは、仏教社会の皆様が、ゴータマ・ブッダを記念し、慈悲と善意について深く考えるためにお集まりになる、仏教社会にとってグローバルな重要性を持つ日です。

この機会はまだ、全ての人々が仏教の豊かな部分をなしている平等、尊敬、理解という仏教の教えについてよく考え、そこから学ぶことができる良い機会ともなっています。

世界はますます相互に依存し、複合的になっており、私たちはこれまでの歴史のいかなる時よりもお互いに結びついています。それゆえ、仏教的価値である忍耐、非暴力、精進が、日々の生活を送っているローカルな社会においても、また、国の枠を越えたグローバルな社会においても、私たちのあらゆる関係の中で具体的に実行されることがますます重要となっています。

オーストラリアでは、仏教社会は、私たちオーストラリア国民が今日享受している柔軟性に富む力強い国家を、あらゆる背景、文化、慣習、宗教を大切にす国家を、孤立することなく世界や周りの地域と結びついている国家を作り上げるのに大きく貢献してきています。

このようなことを心の中で思いながら、私は第10回国連ウェーサクの日をお祝いされるすべての皆様に心よりのご挨拶を送ります。このお祝いが、全ての皆様方にとって平和で恵みに満ちた時となりますように。

ジュリア・ギラード議員閣下
オーストラリア首相

2013年5月21日

メッセージ

第10回国連ウェーサクの日（UNDV）がタイ王国、マハチュラロンコーンビジャウィタヤライ大学そしてタイ国最高サンガ評議会の後援で2013年5月21日～22日にバンコクで執り行われることを知り喜んでおります。

Bangladesh の仏教は、ブッダの時代と同じくらい古いものです。 Bangladesh の人々は、仏教の豊かな遺産と文明により豊かになっています。世界的に有名な学者でもある聖者アティーシャ・ディパンカール・スリジュナン **Atisha Dipankar Srijnan** の生誕地にあるヴィクラムプーリ **Vikrampur** 仏教僧院の最近の発掘と発見は、 Bangladesh に仏教の遺産があることをはっきりと証明しております。

歴史を振り返ってみると、 Bangladesh は、これまでずっと調和のある地域共同体であり続けています。この土地の様々な宗教の信者たちは、自分たちの宗教活動を自由に実践し、そのお祭りを他の宗教の信者たちと共に祝ってきました。現在の政府も、仏教を含め様々な宗教団体の発展を後援しております。

国連ウェーサクの日に世界中からお集まりになった仏教徒のこのお祝いが、大きな成功を収められますことを願っております。

Bangladesh がとこしえに続きますように

シーク・ハシナ

中華人民共和国
国家宗教事務局

祝辞

ダン・バ閣下

バンコクでの2013年国連ウェーサクの日 中国仏教代表団顧問
政策法制局局長
中国国家宗教管理局

マハチュラロンコーンビジャウィタヤライ大学学長、最高尊師プラ・ブラマブンティット教授博士のご招待により、2013年5月21日、22日にタイ国のバンコクで開かれる2013年第10回国連ウェーサクの日祝賀式典に参加できますことを、また、タイ国大僧正ソムデット・プラ・ヤナサンバラ聖下の100歳のお誕生日のお祝いに参加できますことを大変名誉に感じております。中国仏教代表団の顧問として、そして中国国家宗教管理局の代表として、このすばらしい祝賀式典の開会式に心よりのお祝いを申し上げます。バンコクの祝賀式典のために世界中からおいでになった各国の代表団の皆さんにとって、そして宗教界の皆様にとって、幸福なウェーサクの日となりますように！

タイ国大僧正ソムデット・プラ・ヤナサンバラ聖下が今年100歳の誕生日をお迎えになられるということに対し、私はタイ国大僧正ソムデット・プラ・ヤナサンバラ聖下、タイ国国王陛下そしてタイ国の人々に心よりのお祝いを申し上げます。

タイ国大僧正ソムデット・プラ・ヤナサンバラ聖下、タイ国国王陛下、皇后陛下そしてタイ国の人々に日々の幸福と吉兆の恵みがありますように！

この大きな催しがすばらしい成功を収められますように！

ダン・バ閣下

バンコクでの2013年国連ウェーサクの日中国仏教代表団顧問
政策法制局局長
中国国家宗教管理局

枢密院院長・国会議員プレム・ティンスラニンダ将軍からの
仏暦 2556 年（西暦 2013 年）国連ウェーサクの日への祝辞

国連ウェーサクの日は、ブッダの生誕、ブッダの覚醒（ニルヴァーナ）、そしてブッダの死（パリニルヴァーナ）を記念し、様々な宗教的な活動によりブッダへの思いを新たにする日です。この 2013 年第 10 回国連ウェーサクの日のお祝いがタイ国大僧正ソムデット・プラ・ヤナサンバラ聖下の 100 歳の誕生日のお祝いと重なる、ということは何にもましてめでたいことです。

私は、ブッダをたたえる国連ウェーサクの日の組織・運営をタイ国が成功させたことに心よりのお祝いを申し上げます。また、すべてのタイ国民のためにそして世界中のすべての仏教徒のために多大な努力と貢献を、この素晴らしい活動をされてきたタイ国政府、タイ国サンガそしてすべての関係者の皆様に、心よりのお祝いを申し上げます。

プレム・ティンスラニンダ将軍
枢密院院長・国会議員

副首相および教育大臣
ポンテップ・テプカンジャナ閣下

ウェーサクの日は世界中の仏教徒にとってもっとも意義深い日の一つです。この日は、智慧、純粹、慈悲に満ち満ちておられたブッダの誕生、覚醒そして涅槃（ニルヴァーナ）の達成を記念しています。覚醒された後、ブッダは慈悲の心を持って45年にわたってインド中を旅され、その教えを説かれて人々をその悲しみから解放されました。ブッダが覚醒されてから2600年がたちますが、その教えはいまだに多くの人々が敬い従う力強い考えであり、現代に適應できる考えです。このウェーサクの日の重要性を認めて、国連は、ウェーサクの日を世界の重要な日であると敬意をもってたたえる決議を公式に採択しました。

タイ国は2013年5月21日、22日に第10回国連ウェーサクの日の祝賀式典を主催する名誉を与えられています。この祝賀式典は、仏教が世界中に広くひろまっていることを確認すると共に、すべての仏教徒たちの間の強い団結を広く世界に知らしめます。さらには、今年開かれるこの祝賀式典は、2013年10月3日にタイ国大僧正ソムデット・ブラ・ヤナサンバラ聖下が100歳の誕生日をむかえられることを記念する祝賀式典ともなっています。

このめでたい機会にあたり、私は、この祝賀式典の組織運営者そして関係者の皆様に心よりの感謝を申し上げたいと思います。三宝の恵みにより、第10回国連ウェーサクの日祝賀式典が成功し、そしてすべての仏教徒に心の平和と穢れない暮らしがもたらされることを願っております。

(ポンテップ・テプカンジャナ)
副首相および教育大臣

宗教局総局長プリーチャ・グンティーヤ博士のメッセージ
2013年世界ヴィサカプーチャの日に

ヴィサカプーチャの日は、世界中の仏教徒の間で認められている、仏教において最も重要な日の一つです。国連はヴィサカプーチャの日を「世界遺産の日」と宣言しました。というのも、ブッダの教義は平和を大切にしているからであり、それは国連の目標とつながっているからです。仏教は、(1) 身体的にも、言葉の上でも、精神的にも、悪いことを行ってはいけない、(2) 身体的にも、言葉の上でも、精神的にも、善いことをすなわち善行を行うこと、(3) 心を清浄に保つこと、というブッダの3つの教えによって、人間の平和と発展のために本当に役立ってきた、ということができるといえるでしょう。国や言語や民族に関わりなく、どのような場合にせよ人間が望んでいるものは、身体的、精神的な苦痛ではなく、幸福です。苦痛に取り組み、苦痛を乗り越えて幸福になるための方法や手段には様々なものがあります。人々のなかには、他の人々の苦痛の上に幸福を感じる人もいます。しかし、仏教は、他の人々の幸福の上に幸福になるように、と人々に教えてきました。それは次のような言葉で表されています：「幸福になりなさい、不幸の方に向かってはならない、人を悪く利用してはならない、悪意をもってはならない。」

2013年世界ヴィサカプーチャの日をタイ国が主催いたしました。タイ国宗教局は、この祝賀式典によってタイ国のすばらしい美しいイメージを世界に示すことに対し、プラ・プロム・バンティット師をトップとするマハチュラロンコーンビジャウィタヤライ大学をたたえたいと思います。また、このめでたい祝賀式典は、これまで仏教の繁栄の後援者となってこられたプーミポンアドゥンラヤデート国王陛下とシリキット皇后陛下の徳の至高の力を世界中に示しています。それゆえにこそ、タイ国は世界仏教の中心地として信任を得ているのです。

「教育と国際社会の一員であること：仏教的展望」というテーマで開催される世界ヴィサカプーチャの日のお祝いが、大きな成功を収め、タイ国の全ての仏教信者に大きな感謝の気持ちを与え、また、タイの国民の、宗教の、そして国王陛下の安定に寄与することを望んでいます。

(プリーチャ・グンティーヤ博士)

宗教局
総局長

ブラジル ナーランダ仏教研究センター

2013年5月1日

ブラジルからの祝辞メッセージ

2013年第10回国連ウーサクの日祝賀式典に参加されている素晴らしい皆様方、私たちは、タイ国最高サンガ評議会、タイ王国政府、マハチュラロンコーンビジャウィタヤライ大学のお力により、ここに再び友人として集まり、世界中の仏教徒にとってもっとも重要なこの日をお祝いします。「教育と国際社会の一員であること：仏教的展望」が今年の祝賀式典のテーマです。世界中の人々がブッダの教えについてよりよく知るようになれば、誰もが礼儀と調和の中で成長していくだろう、という望みを持つことができるようになります。私たちは、また、タイ国のサンガの長老であるソムデット・プラ・ニャナサンバラ聖下の100歳の誕生日を、国連ウーサクの日の10周年の祝賀式典とともに一緒にお祝い致します。

私たちは、伝統も国も文化も異なっていますが、ブッダという偉大な教育者の弟子としてここに一堂に会しています。ブッダの教えに耳を傾け、ブッダのお示しになったことを実際に応用していこうではありませんか。ナーランダ仏教研究センターは、ポルトガル語圏の国々において、人間の精神と心の本当の教育を共同で行い、苦しんでいる人たちがその悲惨さを理解しそこから抜けでていくことを手助けする様々な手だてを提供するために作られました。私たちの師の偉大な遺産をお祝いするにあたり、より大きなサンガとご一緒できることは、この上ない喜びであり名誉なことです。

全ての生きとし生けるものが幸せであり、解放という目的に向かいますように。

ダマカリヤ・リカルド・ササキ

(マハサドダンマヨティカダーヤ)

ブラジル ナーランダ仏教研究センター センター長

教育と国際社会の一員であること、仏教的展望

私たちの惑星を、宇宙を航海する一艘の宇宙船として表現することがよく行われます。これにより、地球というものが相対的に小さいこと、それに乗っている人たちは他に行く場所がないのだから一緒に活動せざるえないこと、そしてそれを破壊することは全てを破壊することである、ということが強調されます。

このイメージをもっと詳しく検討していくと、この宇宙船、私たちの惑星というものが、一つの生きた有機体であり、それゆえにきわめて特別なものである、ということが分かります。この惑星を構成している生態系は密接に結びついており、この惑星で命を維持しているものは全て、川も山も植物も野生動物も昆虫も、あらゆる形態の命がお互いにお互いの命を可能なものにしています。

別の言葉で言えば、私たちはお互いを助け合うか、さもなくば私たちみんなが滅びてしまうかどうかであり、他の可能性はありません。もし私たちが人類の急速な成長をさらに加速させ、科学技術をさらに発展させ、物質的消費を倍加させ、生態圏へさらにどしどしと足を踏み入れていくならば、我々は人類にとってきわめて重大な歴史的瞬間の中にいる、ということになるでしょう。

苦悩の原因は無知である、とブッダはおっしゃっています。物事の本質を理解しないことが我々を苦しめるのであり、その苦しみを他の人々に広げていくことになります。

教育がこの無知を乗り越える乗り物でありましょう。しかしながら、どのような教育でもよいというわけではありません。単に情報を集めるというだけの教育ではだめなのです。正しい理解と慈悲に基づいて、人を一つの全体としてみる教育が必要なのです。

私たちが物事の本質を理解し、慈悲ある心を発展させれば発展させるほど、私たちの行動も私たちの決断も、ともに命を確かなものとし、善を広めていくこととなりましょう。寛容、忍耐、相互の尊重、正しい生き方、そして他の生あるものを手助けしようとする純粋なる関心が、私たち個人の行動と人間の集団的な行動を特徴づけるものであるべきなのです。

環境を大切にする人たちは、「グローバルに考え、ローカルに行動すべきである」と言います。これは賢明な考え方です。人類が抱えている問題の多くは、たとえば、貧困や気候変動といった問題は、私たちみんなに影響を与えますが、これらのグローバルな問題に取り組む方法というのは、私たちのすぐ身近な周り、ローカルなところにあるのです。私たちの近所に、私たちの家族に、私たちの都市に、私たちの国などにあるのです。

しかしながら、そのような問題は、一本の線で単純につながっているわけではありません。それらの問題は全て、相互に結びついており、あらゆるレベルで想像もできない仕方で他の問題に影響を与えている、ということを理解しなければなりません。

このウェーサクのお祝いは、正しい行動を行なう実際のよい例となります。ブッダ・シャキャームニというお手本を考慮しながら、国々を結びつけ、大陸を結びつけ、様々な文化を結びつけて一つの空間を、会合の場を作り出し、理解と慈悲を前へと進めていくのです。私たちは、この場で、共通して持っているあらゆるものを強調し、私たちを一つに結び合わせているあらゆるものを強調します。これは、苦しみのない世界、自由な世界へ向けて一緒に活動していこうとする意志の力なのです。

フィンランド仏教協会

ヘルシンキ 2013年5月2日

祝辞

2013年国連ウェーサクの日祝賀式典

閣下の皆様方、優れたゲストの皆様方、そして紳士淑女の皆様方

フィンランド仏教協会は、国連ウェーサクの日祝賀式典が素晴らしいものとなりますことを心より願っております。皆様方がおられるところからは遥かに離れた北方に住む私たちフィンランド人は、世界の仏教部派から多くの方が代表者として参加されるこの素晴らしい祝賀式典に、まだできて間もない我が国の仏教協会の代表者たちを招待して下さったことに対し深く感謝しております。

私たちの仏教協会は、多くの他の国々の仏教組織と比べるとまだ小さいのですが、仏教を実践している最大仏教宗派の多くが 2000年までにすでにフィンランドに来られています。それらの宗派に参加する人はまだ少ないのですが、参加して仏教を実践している人たちは非常に熱心に仏教に取り組んでいます。また仏教に対する関心もますます深まってきています。

私たちはフィンランドにおいて辞書作りのプロジェクトを始めました。その目的は、研究者たちに、特に新しく仏教を実践し始めた人たちに仏法の重要な用語をよく理解できるようにすることです。私たちはまた、仏教が文化的背景となっているフィンランドへの移民者たちがどのようなことを必要としているかについての情報を、社会の様々な方面の人たちに提供することに焦点を当てたプロジェクトにも取り組んでおります。フィンランドの社会は、異なる伝統を理解し、異なる文化が必要としているものを理解しようと努力していますが、全般的な知識が欠けており、また必要な情報を入手できるようにする情報整備がまだ十分になされていないのです。

私は、国連の人道主義的なプロジェクトが成功することを、特に、ブッダが教えられた慈悲、思いやり、共感、中道でタイ国でお祝いされるこのウェーサクのイベントが成功することを心より望んでおります。

生きとし生けるものが全て幸せでありますように。

ヴィマラミトラ・ミッコ・カポネン
フィンランド仏教協会会長

バーヴァナ・ハウス Bhavana House
仏法僧院および瞑想センター・世界仏教徒連盟 地域センター
2013 年第 10 回国連ウェーサクの日祝賀式典への
イスラエルからの祝辞

2013 年 5 月 1 日 ダルマの友人たちへ

私達を大変温かく迎えて下さりまして、心よりお礼申し上げます。このおめでたい集まりは、イスラエルにてブッダのダルマを広め伝えていく私たちの努力に勇気と精神的な支えを与えて下さる親愛なるダルマの友人たちに会い、そして友人たちから学ぶ機会となっています。

イスラエルは、不安定な地域の中心に位置しており、国外からもたらされる数々の予想外の変化に常に大きく揺り動かされています。いとも簡単に足場が緩くなってしまいます。国内では、傲慢な愛国主義に対し、そして長期にわたる「潜在意識下に横たわる慢性戦争不安症」に対し、イスラエル社会は非常に大きな代償を払っております。パレスチナの領土を占拠していることが、残虐な行為、ご都合主義、恐怖、道義的行為の欠如そして混乱という病を社会に蔓延させています。多くの人が善意をもっているにもかかわらずどうしようもない状況であるため、いともたやすく絶望や怒りかられてしまいます。

このような私たちが今なお抱えている希望のひとつは、若い世代に憐れみや慈悲（メッタ）や非暴力といった価値を教育することです。これらの価値は、マインドフルネス（心・意識に満ちていること）にその基盤があります。これらの価値は、ダルマの土台を形作っているものの一部ですが、この流血の地域で私たちが調和して生きていくことを可能にしてくれるものです。私たちは、ウェーサクの日の運営委員会がこの極めて重要な教育という議題を今回の会議の議題として選んで下さったことに対して感謝しております。暗く見通しが見えない流れに逆らって進んでいくための巧みな手段と方法を、パネルディスカッションや討議が必ず与えてくれるであろうと、教育者として私たちは確信しております。

私たちは、善意という種を、人に害を与えないという種を、そして私達を解き放つ種を、手遅れになる前に大急ぎで^ま早く努力を全力で行います。力の限り正しい道を歩みます。この 2013 年国連ウェーサクの日の祝賀式典と会議を実現して下さいましたことに対して、仏教信者の皆様、僧院のサンガの皆様、参加者一人一人の皆様、委員会、組織、政府とマハチュラロンコン大学に、私たちは大きな喜びをもって心よりお祝いとお礼を申し上げます。

生きとし生けるものすべてが苦しみから自由になり、平和のうちに生きていけますように。

イタマール・バシヤン博士 Dr. Itamar Bashan, トール・ゴネン博士 Dr. Thor Gonen
二人は、バーヴァナの創始であり、センターでの教育者である

イタリア仏教協会
仏暦 2556 年／西暦 2013 年 国連ウェーサクの日祝賀式典
2013 年 4 月 30 日、ローマ

イタリア仏教協会を代表して、国連ウェーサクの日を再びバンコクで開催して下さったことに対して、タイ国最高サンガ評議会とタイ王国プーミポン・アドゥンラヤデート国王陛下、タイ王国政府、そして主催者マハチュラロンコーン・ビジャウィタヤライ大学に心よりお礼を申し上げます。

記念すべき第 10 回国連ウェーサクの日と、タイ国大僧正サムデット・プラ・ニャナサンバラ聖下の 100 歳のお誕生日を皆さまと共に祝いできますことを、私たちは大変光栄に思っております。この二つの出来事は、ブッダの教えが途切れることなく脈々と続いており、今日においても、世界のあらゆる地域に活力を生み出していることを証明するものであります。

2013 年ウェーサクのテーマは、「教育と国際社会の一員であること：仏教的展望」というものです。ブッダは偉大な師でした。メッセージができる限りはっきりと明確に伝わるよう、教えを説く相手のことを注意深く考慮して下さいました。そして、今日でもなお、ブッダの言葉は、自分たちもまた同じ運命にますます結び付けられつつあるこの世界の一部なのだと感じられるよう、若い人々を教育する際に、刺激となり役立っています。

人間の科学技術は発展し、高いレベルに到達しました。科学技術の発展は、恩恵ともなり得ますが、同時に、単にお金と成功という価値観以上のものを必要としています。私たちは同じ一つの世界に属しているのだ、誰しもが何らかの責任を持っている人間社会に属しているのだ、と感じさせることができる人間的価値観・精神的価値観を浸透させ広めていく努力がなされなければなりません。ウェーサクの日は、ブッダやダルマやサンガに敬意を表するために重要なだけでなく、それらに基づいて、私たち仏教徒が共通して持っている世界観の中で、すなわち、私たちの誰であれこの世のどんなものであれ程度の差はあれ相互に依存し合っているという世界観の中で、異なる社会、異なる文化、異なる経済の様々な面と接触し、対話する新しい方法を見つけようとする努力を行うためにも重要です。

グローバル化がすすむこの時代において、交通機関の発達によりお互いにすぐ会えるようになり、生活様式が画一化し、そして「貧困な人々、国々」と「富める人々、国々」にくっきりと分かれてしまったこの時代において、ブッダのメッセージは、私たちが…生きとし生けるものと自然とを…ひとつに結び合わせている相互依存関係に人々の注意を向けさせるために、そして慈悲という価値に注意を向けさせるために極めて重要です。そうすることによりはじめて、ブッダの教えとお手本に照らし合わせて責任ある行動を行うように、そして、精神的態度を変えるように人々を教育することができます。

未来の世代もまた覚醒への道を歩んでいけるように、時を越えてダルマを実践し、ダルマを次の世代に伝えてきたすべての人々に私たちは敬意を表します。タイ国大僧正サムデット・プラ・ニャナサンバラ聖下に敬意を表し、聖下そして尊敬すべきサンガの全てのメンバーが、ダルマの伝道師として長く実り豊かな人生を送られますようお祈り申し上げます。

「ダルマの贈り物はいかなる贈り物をも凌駕する」ダルマパーダ v.35
マリア・アンジェラ・フェア教授博士
イタリア仏教協会 国際関係代表団 副会長

Persatuan Penganut Buddha Loka Mitta Malaysia

(ロカ・ミッタ仏教徒団マレーシア)

(登録番号 1138-10-SEL)

住所

電話 ファックス イーメール

2013年4月15日 (仏暦 2556年)

ロカ・ミッタ仏教徒団マレーシア

会長、

国連ウェーサクの日国際評議会

副事務局長、

ゴー・セン・チャイ氏からのメッセージ

マレーシアの仏教徒、特にロカ・ミッタ仏教徒団を代表して、マハチュラロンコーンビジャウィタヤライ大学学長、ウェーサクの日国際評議会会長、国際仏教徒大学連盟会長でいらっしゃる尊師プラ・ブラマプンティット教授博士に、2013年(仏暦 2556年)5月21 - 22日にタイで開催される第10回国連ウェーサクの日祝賀式典にご招待下さったことに対して心よりお礼申し上げます。

2013年5月24日の三重に聖なるウェーサクの日にあたり、第10回国連ウェーサクの日祝賀式典のためにバンコクの国連会議センターおよびプッタモンソン(ブッダモンソン)に世界各国からお集まりの仏教徒の皆さま、そして仏教指導者の皆さまに、心よりのお祝いのご挨拶を申し上げ、皆様が喜びに満ちためでたいウェーサクの日を迎えられますようお祈り申し上げます。

このおめでたい第10回国連ウェーサクの日のお祝いとあわせて、ありがたいことに、タイ国第19代大僧正サムデット・プラ・ニャナサンバラ聖下の100歳のお誕生日をお祝いする機会にも私たちは恵まれております。この場をお借りして、聖下の幸福なお誕生日をお祝いし、健康とご長寿をお祈り申し上げます！

第10回国連ウェーサクの日祝賀式典のテーマは「教育と国際社会の一員であること：仏教的展望」というものです。そして二つ目のテーマは「教育と人間主義を広めることへの仏教サンガの貢献」というものです。どちらのテーマも仏教教育の重要性に焦点をあわせており、最も時宜にかなうものです。

仏教教育について論じるとき、私たちは、戒律 Sila、禪定 Samadhi、般若 Panna という三重の仏教教育の実践に打ち込むよう、全ての仏教信者たちを常に励ましていかねばなりません。

ウェーサクの三重に聖なる日は、本当に覚醒するための基盤となるメッタとカルナ(親愛と慈悲)の実践に時間と労力をそそぐべき日です。ウェーサクの日は、仏教徒が集まって第10回国連ウェーサクの日祝賀式典を祝う日であるばかりではなく、私たち仏教徒が、私たちの偉大な師、ブッダの教えを思い出す日でもあるのです。

今日、世界は、自殺、若者たちの間での薬物の蔓延、戦争、政治的対立、宗教的対立など、種々様々

な世界規模の問題と混乱に直面しています。メッタとカルマの実践が欠けていることと合わせて、自分と他人を正しく理解できていないことが、そのような問題と混乱を引き起こしているのです。利己主義やねたみなど、私たちが人として持っている弱さを反省すべき時がきています。精神生活を向上させるためにブッダのダルマの実践をまだ始めていないのであれば、今すぐ始めていきましょう、と私は皆さんに呼びかけます。

マハチュラロンコン仏教大学は、このように巨大な式典を開催するために、莫大な額のお金を費やされました。私たちは、この会議に世界中から集められた優れた方々のお話によって、この第10回国連ウエーサクの日の代表者と参加者の全員が教示を得られますことを祈っております。

最後に、この催しが大きな成功を収めますように！この世界をもっと住み良い場所とする手助けをするために、ダルマを導きのエネルギーとして皆で力を合わせて働きましょう。

スキー・ホトゥ！

気高い三宝の恵みで、生きとし生けるものが健康で幸福でありますように。

ゴー・セン・チャイ PJK、PBB

ロカ・ミッタ仏教徒団マレーシア、会長

国連ウエーサクの日国際評議会 (ICUNDV)、副事務局長

マレーシア青年仏教徒連盟 (YBAM)、顧問

国際仏教徒大学連盟 (IABU)、諮問委員会委員

セテナン仏教協会セラシール&クアラルンプール、在家顧問

セラシール・カムガール・ドゥルク法蔵仏教協会、在家顧問

オーストラリア仏教連盟、コンサルタント、特別顧問

オーストラリア&ニュージーランド統一ベトナム人仏教徒会、コンサルタント、特別顧問

スワジランド・ヴィパサーナ協会

P.O.Box 340 Piggs Peak Swaziland, 電話 : (00268)2431 3380

携帯 : (00268)7602 1976 イーメール : richard@tintsaba.com

慈悲深い導師へ
最高サンガ評議会へ
タイ王国政府へ
尊敬すべき主催者そして高位高官の皆様方へ

第 10 回国連ウェーサクの日会議を主催するという名誉を持たれていることに心よりお祝いを申し上げます。

この第 10 回会議は、仏暦 2556 年のおめでたいウェーサク日とサムデット・プラ・ニャナサンバラ大僧正の 100 歳のお誕生日に重なっております！

スワジランド・ヴィパサーナ協会 the Swaziland Vipassama Association は、この会議に寛大なるご招待をいただいたことを大変光栄に思っております。この会議のおかげで、世界各国からの代表団が一堂に会し、考えを分かち合うことができます。

私たちの組織が参加できることを心よりありがたく思っております。

会議がつつがなく進み、成功することをお祈り申し上げます。

全ての人間が幸せで健やかでありますように。

ダルマのもとに

リチャード・フリーマントル
スワジランド・ヴィパサーナ協会会員

ダルマ協会スウェーデン

Riddargatan 72

SE-114 57 ストックホルム

dhammasociety.sweden@telia.com

祝辞

第 10 回国連ウーサクの日祝賀式典によせて

2013 年 / 仏暦 2556 年

尊敬すべきサンガの指導者の皆さま

ダルマの友の皆さま

ダルマ協会スウェーデンを代表して、この重要な式典…第 10 回国連ウーサクの日祝賀式典にお祝いの言葉を述べさせていただきます。

この祝賀式典のテーマ…**教育と国際社会の一員であること：仏教的展望**…は、世界の多くの地域が深いストレスと緊張を抱えるこの時代に実に適したテーマであります。

ダルマ協会スウェーデンの主な任務は、スウェーデン社会にブッダの言葉を広めることです。スウェーデンでますます多くの人々にブッダの智慧を知らしめ、スウェーデン社会がより良い世界を目指して努力していくことを助け支援していくことは大変重要である、と私たちは感じております。

タイ国大僧正サムデット・プラ・ニャナサンバラ聖下の 100 歳のお誕生日にお祝いを申し上げますとともに、幸運をお祈り申し上げます。聖下に三宝の恵みがありますように。

ダルマのもとに

ダルマ協会スウェーデン

ヤン・ヴィールボルグ

会長